



患者さんと さわやかのかけ橋

今号は、さわやかがいつもお世話になっています、小倉第一病院のソーシャルワーカーと独自のシステムに携わるスタッフの二人にお言葉をいただきました。



ソーシャルワーカー
木村明博さん

さわやかの印象・役割

透析患者さんは週三回必ず通院しなければ身体の維持が困難です。この週三回の通院問題は、ソーシャルワーカーへの相談の中でも多くの割合を占めており頭を悩ませる問題です。現在六十五歳以上の方(第二号被保険者、四十歳以上六十五歳未満の方を含む)であれば介護保険制度の中で介護タクシーを利用し通院することが可能ですが、介護保険を申請しても要支援と判定され介護保険制度を利用できない、家族の援助を受けることの難しい環境にある患者さんの送迎問題の解決機関として「さわやか」は今や無くてはならない団体だと感じています。又、ボランティアさんの協力

もと送迎サービスが行われており送迎一回につき三百円という低料金で利用することができ患者さんの負担も少なく非常に利用しやすい送迎サービスだと思えます。介護保険制度は本当に患者さんの必要な時に必要なサービスを利用できるまでには至っていないため今後とも「さわやか」の通院事業が透析患者さんの通院に大きな希望を与えてくれることを願っています。**さわやかに期待すること** 通院送迎は今の段階で「ドア・ツー・ドア」が原則で送迎のボランティアさんは患者さんの身体に触れ介助することができません。そのため車椅子を利用して利用している方が利用できないといった状況になることも少なからずあると思えます。このような方々が今後「さわやか」を利用したいと言われたとき介護保険制度も使えない、家族も介護の限界となったときでも利用できる「さわやか(ボランティア)専用車(車椅子対応)」があればと感じます。



マルチタレント科
栂山洋二さん

中小病院では、大病院に比べて業務内容は同等でも規模の違いにより業務量が少ないことがあります。そこでマルチタレントは、主業務の他に色々な業務をこなし、他の忙しい現場などのサポートを行

っています。私は、外来助手、病棟クラークの他に早朝やお昼の透析室が忙しい時間帯に、透析記録用紙への記録業務や患者様のお世話。また、ベット移動が困難な入院患者様のベッド移動の介助など、看護助手さんのお手伝いもしています。そのほかにも院内で使う本棚の組み立てや、壁のペンキ塗り、台風の日に屋上に上がった排水溝のつまりをとった事

もありません。毎日、病院内を走り回っていますが、いろいろな仕事ができたり、患者様とコミュニケーションがとれたり、とてもやりがいのある毎日です。



総務課
宮迫麻衣さん

ゴールデンレトリバー ハッピー回診

アニマルセラピーとは犬や猫などの動物と触れ合うこと

回診は、月曜日と木曜日の週二回・午前十時三十分から三〇分程度行っております。二階と三階の入院患者様のところを主にまわっております。一人でも多くの方とお会いしたいので、患者様のリハビリの時間や透析の日を考慮して行っております。

また、私自身も、ハッピーを通して患者様と触れ合う機会ができたことを大変嬉しく思っています。このハッピー回診が、患者様方にとってつらい入院生活のなかで癒しの時間となっていることを私共は、大変嬉しく思います。

猫などの動物と触れ合うことによって、心や体を癒すことです。当院では、院長の愛犬であるハッピーがその役目を果たしています。

患者様からは、「ハッピーと会えるのをいつも楽しみにシテイル」「ハッピーが来てくれるだけで元気になる」などの声をいただいています。

生活や透析生活の中で少しでもやさらぎや楽しみの時間を作ろうということから始まり

ハッピー回診は、長い入院中にはハッピーが来るのをずっと待っている方もいらっしゃいます。

作りました。また、触れ合うことで手足を動かすなど、リハビリの効果も目的としています。

ハッピー回診は少しずつではありますが、患者様の癒しになってきていると思えます。



